

絵を見て、まちがいを10カ所見つけてね。
正解者のうち、抽選で5人に図書カードをプレゼントします。



応募方法

はがきまたはファクスに①答え(どちらかの絵に○をつける)②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号⑥広報紙の感想、意見などを書いて秘書広報課(〒443-8601 FAX 66-1192)へ。当選者と答えは、広報がまごおり9月号に掲載します。

締切 7月14日金

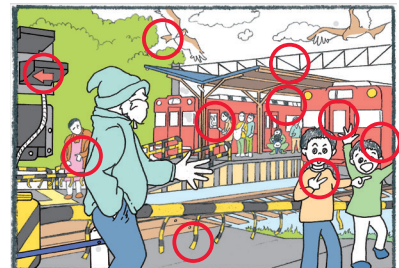
5月号当選者

- 生田 結愛(鹿島町)
- 石川 ふみ(形原町)
- 浦 美里(豊岡町)
- 左右田節己(本町)
- 細川 大輔(三谷町)



画:とうふねこ座
市川雅子

5月号の答え



海の安全を願って

蒲郡には2つの海水浴場があります。
1つは三河大島海水浴場。なんと三河大島は、愛知県で唯一、海水浴ができる無人島です。もう1つは、西浦温泉パームビーチ。ガマフォルニアを抜けた先にある、白い砂浜と青い海が特徴的なリゾート感あふれる海岸です。砂でお城を作ってみたり、浮き輪でプカプカ浮いてみたり、海の家でトロピカルなジュースを飲んでみたりと、シーズンになると、海水浴場にはたくさんの方が海を満喫しにやってきました。

そんな海水浴場では、例年、海開きに合せて神事が執り行われます。神事では、酒や魚が奉納され、神職が祝詞を奏上します。そして、塩やお神酒を海にまいて、期間中の安全を祈願します。

さあ、今がちょうどそのシーン。清めの塩をふわつとまくと、太陽の光を受けてきらつと光りながら、風に乗って海に消えていきます。今年の夏も、事故なく、みんなが海を楽しめますように。